

秋田市教育委員会 会 議 録

平成 2 6 年 6 月定例会

秋田市教育委員会平成26年6月定例会会議録

- 1 日 時 平成26年6月27日(金)
午後3時30分～午後4時30分
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 出席委員 委員長
教育委員
教育委員
教育委員
教育委員(教育長)
- 4 出席職員 教育次長
教育次長
総務課長
総務課参事
学事課長
学校教育課長
学校教育課教職員室長
教育研究所長
スポーツ振興課長
文化振興室長
総務課長補佐
総務課副参事
学事課長補佐
学校教育課長補佐
生涯学習室長補佐
総務課主席主査
総務課主席主査
学校教育課主席主査
総務課主査
学校教育課主査
総務課主任

5 議 題

【教育長等の報告】

- (1) 平成26年度第1回秋田市いじめ対策委員会について
- (2) 秋田市雄和地域新設小学校開校準備委員会について
- (3) 市有スポーツ施設へのネーミングライツの導入について
- (4) 平成26年度6月市議会定例会の審議状況について

6 議 事 午後3時30分開会

【平成26年5月定例会会議録の承認】

平成26年5月定例会会議録について、異議がないため承認された。

【会議録署名委員の指名】

委員長が今回会議録の署名委員として委員2名を指名した。

【教育長等の報告】

- (1) 平成26年度第1回秋田市いじめ対策委員会について

学校教育課長 (資料に基づき説明)

いじめの認知件数について、平成25年度は、前年度より減少した。このことで安易にいじめが減少したと捉えることなく、いじめが見えづらくなっていることへの危機意識を持って今後も未然防止・早期発見・迅速で丁寧な対応に努める。

いじめの行為および被害を受けた子どもの不安がなくなった状態をいじめの解消と捉えている。昨年度の未解消29件について聴き取り調査をしたところ、継続支援中が1件であり、28件は既に解消していた。

本年度作成するいじめ防止リーフレットは、保護者や地域の人に理解を深めてもらうため、2万5,000部を配布する。

- 委員 どのような場合をもっていじめと認知しているのか。資料に認知件数の表があるが、この件数は子どもがいじめと感じた数なのか、客観的にいじめと判断された数なのか。
- 学校教育課長 いじめの認知件数は、どんな経路であれ子どもがいじめを受けたと感じ、対策を行ったもの全てを含んでいる。経路としては、昨年度は保護者からの訴えが多く、中学生の場合は本人からの申し出が多い傾向があった。また、アンケートから判明した例も多くあった。
- 委員 各学校がいじめに取り組み、いじめ防止基本方針をホームページに掲載するということが、現在の掲載状況はどうか。
- 学校教育課長 各校と調整の上、先週末に全学校に掲載の依頼をした。作業中のため、まだ掲載されていない学校もある。
- 委員 現在、小学校で6割弱、中学校では7割近くの学校が掲載を完了している。全ての学校でホームページに掲載されるのはいつになるか。
- 学校教育課長 6月末には全ての学校のホームページに掲載される。
- 委員 各校が工夫して分かりやすく掲載して欲しい。
- 委員 いじめの認知は保護者や本人からの訴えによる場合が多いとのことだったが、訴え先は学校の教員が多いのか、それとも相談機関か。また、いじめの態様について、軽い暴力とひどい暴力の判定基準を説明して欲しい。
- 学校教育課長 訴え先は、学校の教員が大半である。軽い暴力はつねる等けがをするに至らないものを指し、ひどい暴力はたたく等けがを伴う行為である。
- 委員 当事者の認識によって、暴力の軽い、ひどいを分類しているのか。
- 学校教育課長 学校が調査し、判断している。
- 委員長 一度解消されたいじめが、再び起こるといった事例について、把握はしているのか。
- 学校教育課長 調査はしていないが、これまで同じ子ども同士でいじめ

が再発したという事例は把握していない。

(2) 秋田市雄和地域新設小学校開校準備委員会について

学事課長 (資料に基づき説明)

委員 体育館の広さについて、何に使用するため、広くしてほしいと要望があったのか。また、体育館の規模について補助金との関連で制約はないのか。

学事課長 地元住民は、ミニバスケットボールに使用することを想定している。当初からコート1面分は確保していたが、更に父兄等の観覧用のスペースを確保するため、敷地内で可能な最大限の面積に拡大を行っている。

総務課参事 配置等を考慮し、国からの補助を最大限得られるよう検討したものである。要望に対応するため、設計当初と比べ、面積として44㎡ほど広く設計している。

委員 体育館の広さには、学校規模に応じた定めがあるのか。

総務課参事 クラス数に応じて広さが定められており、新設小学校の体育館は適正な広さになる。

委員 建築資材が高騰しているが、予算の制約によって計画を変更する可能性はあるのか。

総務課参事 落札業者がないという事態を避けるため、最新の単価を用いて積算し、9月議会に向けて予算要求する予定である。

委員 地域の方々が、子ども達のために質の高い校舎を望むのは理解できるが、児童数を考慮し、他の小学校と比較して不公平でない校舎を建設して欲しい。旧校舎の利活用については、地域の方々が毎日のように利用できる施設が望ましい。建物を無駄にすることがないようにして欲しい。

学事課長 旧校舎については時間をかけて地元の意見・要望を聴き、有効に活用したい。

(3) 市有スポーツ施設へのネーミングライツの導入について

スポーツ振興課長 （資料に基づき説明）

委員 これまでに問い合わせはあるか。また、想定している契約金額はどのくらいか。

スポーツ振興課長 2、3の企業から問い合わせがきている。契約金額は、他の自治体の事例を参考に年間300万円を想定している。

委員 パートナーの企業名が愛称になるのか。

スポーツ振興課長 他の自治体の事例では企業名がほとんどだが、中には商品名を愛称としている施設もある。

委員 企業名を冠した場合、イベント等の内容によっては、一時的に施設表示を変えることも起こり得るか。

スポーツ振興課長 条例の施設名は変更しないので、制度上は可能である。パートナーと相談の上、対処したい。

委員 八橋運動公園球技場と第2球技場を併せて1つの愛称を付けるのか、それとも別々の愛称を付けるのか。

スポーツ振興課長 基本的には別々と考えているが、相手側からの提案によっては併せて1つとすることもあり得る。

委員 類似する複数の企業から応募があった場合は、選定基準は金額になるのか。

スポーツ振興課長 市の財源確保が目的であるため、基本的には金額を優先する。

(4) 平成26年度6月市議会定例会の審議状況について

総務課長 （教育産業委員会で報告・説明した案件について、内容を報告）

【その他、事務局から】

(1) 7月の教育委員会関連行事予定について

総務課長 （資料に基づき報告）

(2) 5月定例会での質問事項について

学事課長 5月の定例会で委員から質問のあった児童生徒の骨折状況について報告する。

秋田市内の小学校での腕の骨折数を調査したところ、過去5年間の推移を見ると増加傾向にはない。

【その他、委員から】

委員 八橋陸上競技場の芝生の張り替えに伴い、現在の芝生を無償配付するということだが、応募状況はどうか。

また、第2球技場に敷いた人工芝について、ボールが弾むと黒い粒が跳ね上がるようだが、あれは何か。素材と性能を説明して欲しい。

スポーツ振興課長 芝生については全部で7件の問い合わせがあり、それぞれグラウンド等の補修に使われる。

第2球技場の黒い粒は緩衝材のゴムチップである。ウレタンのアンダーパッドも敷いているが、更にクッション性を高めるために使用しており、5年に1回補充する予定である。

委員 芝生の件は、リユースとしてとても良い事例だと思う。他にもこのような事例はあるのか。

スポーツ振興課長 スポーツ施設では初めてのケースである。当初は廃棄予定であったが、再利用できないか検討したものである。今後も機会があれば実施したい。

委員 どのくらいの面積の芝生が譲渡されるのか。

スポーツ振興課長 芝生は7, 600㎡あるが、全て譲渡される。

委員 児童生徒の骨折件数については、県内では増加している市町村もあるようなので、今後も慎重に推移を見守っていく必要がある。

過去に実施した通学路の一斉点検で判明した危険箇所について、未対応の箇所はあるか。

大規模改修を行っている小学校で、入口が分かりづらいため案内板を建てて欲しいとの要望に、工事完了を待たずして非常に分かりやすいものが設置された。地域・保護者等から分かりやすくなって良かったという声がある。

スタートカリキュラムについて、学校訪問で話題になるが実物を見たことがないため、お知らせ願いたい。

教職員は多忙であり、振替で休むのも簡単ではないと聞く。大きな原因は事務処理と部活動指導との報道があったが、実態はどのようなものか。小学校の場合はスポーツ少年団であり部活動指導はないので、中学校の方がより多忙と考えてよいのか。

学事課長

小学校の通学路の危険箇所について、一斉点検で判明した危険箇所は113件あり、そのうち昨年度末現在で対策済が104件、今後対策予定が6件、未定が3件である。未定箇所については、関係者と対応を協議している。本年度新たに連絡協議会を設置する予定であり、継続して取り組んでいく。

学校教育課長

スタートカリキュラムについては、モデルプランなどを含めて、各校へ送付した資料と同じものを後ほど配布する。既に作成している学校もあり、今後も研修会や学校訪問を通して浸透を図っていきたい。

教職員室長

教職員の勤務状況については、小中学校ともに授業準備や報告書の作成などの事務に時間が割かれている。小学校の教職員はスポーツ少年団には直接携わっていないため、部活動指導がある中学校の教職員の方が残業が多い傾向にある。昨年度の調査では、教職員の平均残業時間は小学校で1～2時間、中学校で2～3時間程度となっている。振替については、適切に対応するよう校長会等で指示している。

【その他、今後の日程についての報告】

総務課長補佐 教育委員会定例会は原則、毎月第４木曜日としており、
7月定例会は7月24日（木）を予定している。

案件として平成27年度使用秋田市立小学校教科用図書の採択があり、審議が長時間になることが見込まれるため午後1時からの開始を予定している。審議が終了しない場合は、翌日の午後1時から継続して審議を行う。

午後4時30分閉会

以 上